

多摩川ふれあい教室体験学習会「多摩川博士になろう！」(2025年度) NPO法人多摩川センター

活動日	活動名称	活動概要
2025年 4月20日	多摩川博士になろう！ PART226 さがしてみよう！川底の生きものたち～プラナリアを中心とした水生生物の観察～	ヤナギなどの木々の芽吹きや春の野草も花を咲かせ、夏鳥のさえずりも聞こえてくる春の河原で、多摩川の流れの中の生きもの、川底の石の下などにすむ水生生物、とくに“プラナリア”を中心に採取体験とともに、周辺環境を含めて観察、記録する。 講師(学習リーダー):塩澤真奈(多摩川ふれあい教室運営スタッフ・NPO多摩川センター研究員)
5月18日	多摩川博士になろう！ PART227 多摩川・初夏の鳥たち	新緑の季節の郷土の森博物館周辺や多摩川の河川敷を歩きながら、繁殖の時期にある夏鳥を中心とした鳥類や植物などを観察し、種類やさえずりといった生態、特徴などとともに、観察を通じて、府中の多摩川の自然環境について学習する。 講師:大塚 豊(NPO多摩川センター研究員・自然写真家)
6月15日	多摩川博士になろう！ PART228 みんなで調べる多摩川・河原の植物(初夏)～河原の植物から環境の変化を見ていこう！～	季節の移ろいや洪水など自然の営み、地域の暮らしとともに常に表情を変える多摩川。博物館地先の多摩川は、大丸用水堰の改築にともない、大きな環境の変化を見せている。まもなく終了する工事の後、多摩川はどのように変化していくか、河原の樹木、野草とともに、河原全体の植物(植生)や、川の流れ、景観が変化していくようすにも注目してポイントを決めて季節ごとに観察、記録する。講師:吉田 誠(植物研究者、NPO多摩川センター研究員)
7月20日	多摩川博士になろう！ PART229 夏の多摩川・川の安全教室(水中観察と川流れ体験)	ライフジャケットや水中メガネなどをつけて、水中観察や川の流れを体験する。夏の水遊びシーズンを迎え、身支度、熱中症やけがの予防など野外活動で気をつけなければならないことや、水難事故対策についても親子で学ぶ。 講師:山道省三(NPO多摩川センター)
8月17日	多摩川博士になろう！ PART230 多摩川・川のなかの生きものたち	多摩川の流れや伏流水、溜まりのある場所は、水の中の小さな生きもの「すみか」や逃げ場所にもなっている。どんな所にどんな生きものがあるのか、水辺で探して観察、採取体験を行う。身支度、ライフジャケットの着用など、夏の水辺の活動で気をつけなければならないことも一緒に学ぶ。 講師(体験学習リーダー):野口 龍太(多摩川ふれあい運営スタッフ、NPO多摩川センター研究員)
9月21日	多摩川博士になろう！ PART231 多摩川むしむしウォッチング(府中市郷土の森博物館「自然観察会」との共同開催)	郷土の森博物館付近の多摩川の河原などの草むらには、この時期さまざまなバッタ類やトンボ類、鳴く虫たちが見られる。虫たちはどんな所にいるのか(どんな環境を好むのか)、採取体験とともに観察する。採取した虫たちの種類や特徴などを学び、どんな姿をしているなど、じっくり観察する。 講師:立川周二(農学博士・元東京農業大学教授、多摩川センター研究員)
10月19日	多摩川博士になろう！ PART232 どう変わる？これからの多摩川の姿	府中市郷土の森博物館近くの多摩川は、2019年の台風19号の被害をふまえた洪水対策として大丸用水堰改築などの大きな工事が終わり、その姿が大きく変わった。目の前に広がる景色を眺めながら、これまで行われた工事がどのようなものだったのか、そして、これからどのような姿に変わっていくのかを学び、考える。 講師:大浪 裕之(国土交通省京浜河川事務所 河川環境課)
11月16日	多摩川博士になろう！ PART233 みんなで調べる多摩川・河原の植物(秋から冬へ)～河原の植物から環境の変化を見ていこう！～	季節の移ろいや洪水など自然の営み、地域の暮らしとともに常に表情を変える多摩川。博物館地先の多摩川は、大丸用水堰の改築など、大きな環境の変化を見せている。河原の樹木や野草、そのまともり(植生)、川の流れ、景観が変化していくようすに注目し、ポイントを決めて季節ごとに観察、記録するプログラムの2回目として、工事が再開し秋から冬に向かう変化の様子を見る。 講師:吉田 誠(植物研究者・NPO多摩川センター研究員)
12月21日 27日 ※2日間の時間制で実施	多摩川博士になろう！ PART234 手づくりのお正月飾りにチャレンジ！	稲わらのしめ飾りをベースに、自然素材などを使って飾りつけ、色紙に墨で描いた絵や書なども添えて、オリジナルのお正月飾りを作る。伝統的な「和」の形に自分だけのアイデアを加えて表現する。 講師:宮田温子・小林いづみ(多摩川センター研究員、多摩川ふれあい教室運営スタッフ)・塚かなえ(多摩川センター)
1月17日	多摩川博士になろう！ PART235 多摩川へ冬の野鳥に会いに行こう！	冬の季節は、川や水辺でカモ類などの冬鳥や、この時期に特に目にする鳥の姿がある。葉が落ちて、野鳥観察の好シーズン、郷土の森博物館の周辺や多摩川で鳥のようすを観察し、生態なども学習する。 講師:大塚 豊(NPO多摩川センター研究員・自然写真家)
2月15日	多摩川博士になろう！ PART236 どう変わる？これからの多摩川の姿・2	多摩川では、2019年の水害をふまえた治水対策として、大丸用水堰の改築や護岸の整備、現在も河道の掘削、護岸の改修などの整備が「治水と環境が調和した川づくり」として行われている。大きく変わった川の景色を眺めながら、現在行われている工事とともに、これから多摩川がどのような姿に変わっていくのかを学び、考える。講師:大浪 裕之(国土交通省京浜河川事務所 河川環境課)
3月15日	多摩川博士になろう！ PART237 みんなで調べる多摩川・河原の植物(早春)	季節の移ろいや洪水など自然の営み、地域の暮らしとともに常に表情を変える多摩川。博物館地先の多摩川は、大丸用水堰の改築など、大きな環境の変化を見せている。河原の樹木や野草、そのまともり(植生)、川の流れ、景観が変化していくようすに注目し、ポイントを決めて季節ごとに観察、記録するプログラムの3回目として堤防植生の変化を中心に、春の野草を観察、記録する。 講師:吉田 誠(植物研究者・NPO多摩川センター研究員)